

# スポーツ史 学会だより

第139号

2020年12月15日発行

スポーツ史学会事務局

〒174-0053 東京都板橋区清水町92-1

東洋大学総合スポーツセンター

谷釜研究室内

TEL : 03-6454-3182

E-mail : tanigama@toyo.jp

<http://sportshistory.sakura.ne.jp/>

## I. 事務局報告

### 1. 会況報告(2020年11月30日現在)

- 1) 会員総数224名、1機関  
(正会員205名、学生会員19名、賛助会員1機関)
- 2) 会費納入状況

2020年度納入者数	174名
2019年度納入者数	205名
2018年度納入者数	210名
2017年度納入者数	205名
- 3) 今年度会費収入総額 1,339,000円

### 2. 会費納入のお願い

今年度会費(正会員8,000円、学生会員5,000円、賛助会員一口10,000円以上)の納入はお済みでしょうか。未納の会員は下記まで納付をお願いいたします。

会則第9条により、3年を越えて会費を未納の場合には、会員資格を喪失することになります。また、2年間会費未納の場合には一部会員サービスを停止させていただきます。なお、会費納入状況等についてのご質問がある場合は、事務局までお問い合わせください。

郵便振替口座 : 00940-7-282457

加入者名 : スポーツ史学会

### 3. スポーツ史学会第34回大会の開催

本年度の学会大会は12月5日(土)～6日(日)に、オンライン形式で開催されました(佐々木浩雄会員)。

第1日目には3題の一般発表があり、続いてシンポジ

ウム「スポーツの世界史を考える—文明化の使命、帝国主義、ポストコロニアルの視点から—」が開催されました。佐々木浩雄会員の司会、石井昌幸会員のコーディネートのもと、川本真浩氏(高知大学)、高嶋航氏(京都大学)、藤川隆男氏(大阪大学)による発表が行われました。その後、シンポジスト同士およびフロアからの質疑応答も含めて活発な議論が展開され、盛会のうちに終了しました。第2日目は、7題の一般発表がありました。終了後、総会が開催されました。

### 4. 令和2年度総会について

総会に先立ち、スポーツ史学会学会賞の報告と表彰が行われました。

井上学会賞選考委員長より、令和2年度の奨励賞は該当なし、学会賞として青沼裕之会員の『イギリス労働者スポーツ運動史 一九二三—五八年』(青弓社、平成31年4月刊行)が選ばれたことが報告されました。

続いて、三井悦子会長より表彰状が読み上げられ、授与式が執り行われました。

#### 1. 会長挨拶

#### 2. 議長選出

松本芳明理事長が議長に選出されました。

#### 3. 報告事項

##### 1) 会況報告

事務局より、2020年8月31日現在の会況が報告されました。

##### 2) 令和2(2020)年度 事業・会計中間報告

総会配布資料に基づいて、事務局より今年度の事

業・会計中間報告が行われました。

### 3) 役員改選選挙の結果について

選挙管理副委員長より、役員改選選挙の結果が以下の通り報告されました。

会長) 投票総数 67、有効投票 62、無効 2、白票 3

当選：松本 芳明会員

次点：松尾 順一会員

理事) 投票総数 134、有効投票 127、無効 2、白票 5

当選：松浪 稔会員、谷釜 尋徳会員、

嶋木 千加子会員、佐々木 浩雄会員

次点：和田 浩一会員

監事) 投票総数 67、有効投票 62、無効 2、白票 3

当選：井上 邦子会員、竹谷 和之会員

次点：田原 淳子会員

### 4) 編集委員会報告

編集委員長より、『スポーツ史研究』第 34 号を今年度末発刊予定で編集を行っていることが報告されました。また、巻末に「会員活動報告」を載せるため、その用紙を「学会だより」(139 号)に同封するので、記入の上、返送願いたい旨の報告がありました。

### 5) 会報『ひすぽ』について

企画担当理事より、今年度は 106 号から 108 号を発行予定で、現在 107 号まで発行済み、108 号は年度内に発行予定の旨、報告がありました。

### 6) 次期学会大会について

企画担当理事より、第 35 回大会は理事会で協議の結果、日本体育大学 東京・世田谷キャンパス(福井元会員)での開催に決定し、会期は 2021 年 12 月 4 日(土)～5 日(日)を予定している旨、報告がありました。

### 7) その他

#### (1) ISHPES 2020 札幌大会について

瀧元理事および池田大会組織委員長より、スポーツ史学会との共催で 8 月 22 日(土)～23 日(日)に開催された ISHPES 2020 札幌大会について、実施概要の報告がありました。また、開催経費の多くが、スポーツ史学会として獲得した科学研究費補助金(「研究成果公開促進費」2019～2020 年度)によって賄われたこと、その会計処理はスポーツ史学会

(事務局)と日本学術振興会との間で完了していることが合わせて報告されました。

## 4. 審議事項

### 1) 令和元(2019)年度 事業・決算報告について

事務局より、事業報告について総会資料に基づき原案が示され、審議の結果、原案通り承認されました。

### 2) 令和 3(2021)年度 事業・予算案について

事務局より、令和 3(2021)年度の事業計画案、予算書案、学会活動準備金収支予算書案について、総会資料に基づいて説明があり、審議の結果、原案通り承認されました。

### 3) その他

複数の会員より、今回の学会大会を踏まえ、次年度以降、対面とオンラインのハイブリットの形式を検討してほしい旨の意見が寄せられ、今後、理事会および大会組織委員会において継続的に検討していくことになりました。

## 5. 閉会の挨拶

## 5. 会議の開催

以下の会議が開催されました。

### 【理事会】

第153回 2020年12月5日 オンライン形式にて開催

第154回 2020年12月6日 オンライン形式にて開催

### 【編集委員会】

第3回 2020年12月2日 オンライン形式にて開催

## 6. 日本学術会議刊行物

月刊『学術の動向』2020年10～12月号が事務局に届いております。目次のコピーを同封いたしますので、関心をお持ちの方はご連絡ください。

なお、特集記事は<http://www.scj.go.jp>からも閲覧可能です。

## 7. 「会員活動報告」の連絡について

『スポーツ史研究』第34号の巻末に掲載する「会員活動報告」の用紙を同封しますので、令和2(2020)年の研究活動報告(「修士・博士論文報告」は令和元年度を含む)を記入のうえ、2021年1月31日までに事務

局まで提出(メール送信でも構いません)下さいますようお願いいたします。

## 8. スポーツ史学会学会賞の推薦について

令和3年度スポーツ史学会学会賞の候補論文(著書)の推薦依頼書を同封しますので、ふるってご推薦下さい。学会賞、奨励賞ともに、2名以上の会員の連名で推薦することができます。推薦の際には、応募書式(推薦書式)に沿って作成した推薦書を、2021年2月末日までに事務局までご提出下さい。

今回は2020年1月1日から12月31日までに刊行された『スポーツ史研究』、その他の学術雑誌の論文および学術的著書が対象となります。著者(ファースト・オナー)が本学会員で、内容がスポーツ史に関連するものに限られます。

## 9. スポーツ史学会30周年記念誌の献本

2017年度にスポーツ史学会30周年記念誌『スポーツ史研究の未来』が完成し、会員の皆さんにお届けしました。

事務局に若干の余部がございます。所属先の図書館や、図書館以外でも公的機関等に納本して下さるといふ会員に限り、お分けいたしますので、事務局まで必要部数をご連絡ください。申込受付先着順といたします。送料は事務局で負担いたします。

## 10. 書籍の寄贈について

事務局に、下記の書籍を寄贈いただきましたので、お知らせします。

ニコ・ベズニエ(著) スーザン・ブロウネル(著) トーマス・F・カーター(著)、川島浩平(訳) 石井昌幸(訳) 窪田暁(訳) 松岡秀明(訳)  
『スポーツ人類学 : グローバリゼーションと身体』  
(共和国、2020年9月刊行)

## 11. スポーツ史学会第35回大会について

第35回大会は、以下の通り開催予定です。

期 日: 2021年12月4日(土)~5日(日)

場 所: 日本体育大学 東京・世田谷キャンパス

## II. 理事会報告

### 第153回理事会

第153回理事会が次の通り開催されました。

期 日: 12月5日(土) 10時00分~11時00分

形 式: オンライン会議(Zoom)

出席者: 三井悦子(会長)、松本芳明(理事長)、市場俊之、井上邦子、瀧元誠樹、林 郁子、福井 元、矢野裕介、綿貫慶徳、佐々木浩雄(学会大会担当)、谷釜尋徳(事務局)、

欠席者: なし

議長: 松本芳明

#### 1. 議事録確認

1) 第152回理事会議事録の確認

#### 2. メール審議

1) 会員の入会について

2) 「ひすぼ」第108号の特集テーマおよび設定趣旨について

3) 学術連合による日学総会決議文支持声明文の公表について

4) 2020年度 総会次第・資料および議長について

#### 3. 報告事項

1) 会況報告

2) 会員の所属変更

3) 「スポーツ史研究」第34号の編集進捗状況について

4) 「ひすぼ」第108号の編集進捗状況について

5) 次期学会大会(第35回)について

6) ISHPES 2020札幌大会について

7) その他

#### 4. 審議事項

1) 2020年度総会の進行について

2) 年間計画について

3) その他

#### 5. その他

### 第154回理事会

第154回理事会が次の通り開催されました。

期 日: 12月6日(日) 17時00分~18時30分

形 式: オンライン会議(Zoom)

出席者: 松本芳明(会長)、瀧元誠樹(理事長)、鶴木

千加子、市場俊之、佐々木浩雄、林 郁子、福井 元  
(学会大会担当)、矢野裕介、松浪 稔、谷釜尋徳(事務局)

欠席者:なし

議長:瀧元誠樹

### 1. 審議事項

- 1) 会務及び委員会分掌
- 2) 年間計画について
- 3) その他

### 2. 報告事項

- 1) 次期学会大会について
- 2) その他

## Ⅲ. 編集委員会報告

### 1. 『スポーツ史研究』への投稿

現在、2021年3月発行予定の第34号の編集作業を進めています。

『スポーツ史研究』への投稿は随時受け付けております。投稿規程ならびに執筆要領は『スポーツ史研究』の見開き及び学会ホームページに掲載されていますので、投稿前に必ずご確認下さい。

**なお、投稿先が変わりました。新たな投稿先は、次の通りです。**

〒480-1197

愛知県長久手市片平二丁目9

愛知淑徳大学 健康医療科学部 矢野研究室  
スポーツ史研究編集委員会 宛

yyano@asu.aasa.ac.jp

## Ⅳ. 会報『ひすぽ』報告

### 1. 『ひすぽ』特集テーマの募集について

現在、第110号以降の特集テーマを募集しておりますので、事務局までお寄せください。皆様からの積極的なご提案をお待ちしております。

## V. 会員の動向

### 1. 入会・退会

<入会>

次の方の入会が承認されました。(敬称略)

正会員

佐藤 宏拓穰(柏木学園高等学校)

岩佐 直樹(朝日大学保健医療学部)

### 2. 所属変更について

以下の会員から所属変更のご連絡がありました。

(敬称略 ( ) 内は新所属先)

伊藤 麻紀子(南朝霞公民館)

鈴木 楓太(先端科学大学 教育開発センター)

所属、連絡先住所等に変更があった場合には、必ず事務局までご一報ください。所属変更、連絡先の変更がないまま住所不明になる会員もいらっしゃいます。

なお、会員の皆様への諸連絡を円滑にするために、**メールアドレスに変更があった方は、必ず事務局までお知らせ下さい。**

### 3. 会員資格の喪失と退会について

スポーツ史学会会則第9条に則り、3年間会費未納の方は、会員資格を喪失します。

現在、7名の方が、2018年度以降の年会費未納となっております。2020年度末で会員資格を喪失することになりますので、該当する会員は至急会費の納入をお願いします。

また、会員が本学会を退会する際には、会員であった期間の会費を納入していただいたからの退会承認となります。

大学院を修了し、研究活動を継続せず退会する場合は、退会手続(事務局へご連絡ください)を忘れずにしてください。退会手続が遅れると、次年度の会費が発生します。

学生会員の推薦者となった会員の先生も、この点にご留意いただき、ご指導をお願いいたします。特に留学生の帰国の際に、会員継続の意思がない場合は退会手続を忘れずにお願いいたします。